

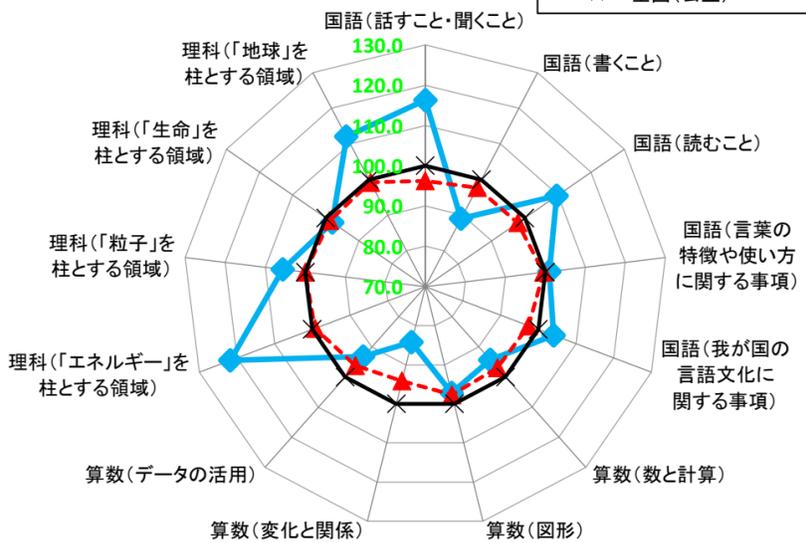
■ニセコ町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:37人）（中学校数:1校、生徒数:32人）

【教科全体の状況】

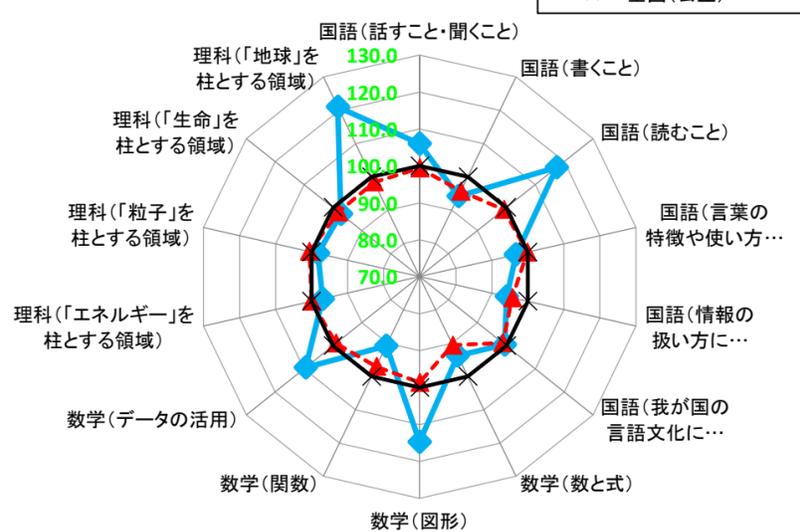
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの（市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	69	69
算数・数学	58	52
理科	68	51

小学校

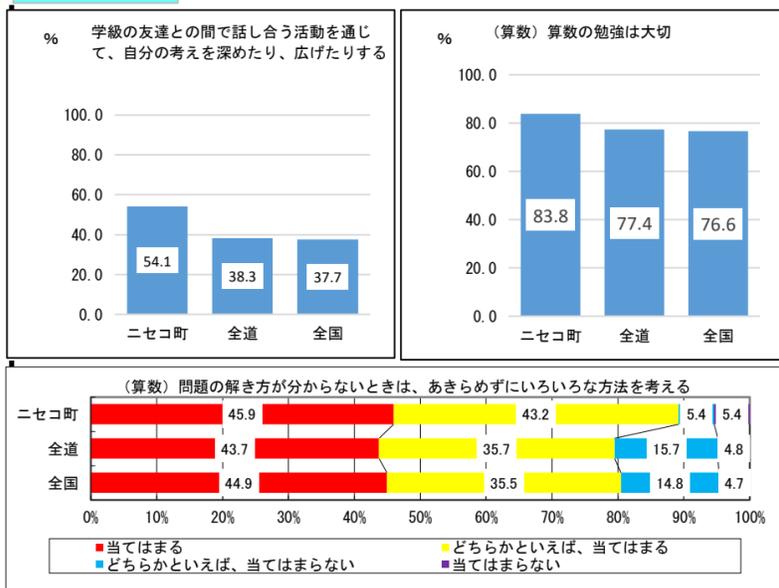


中学校

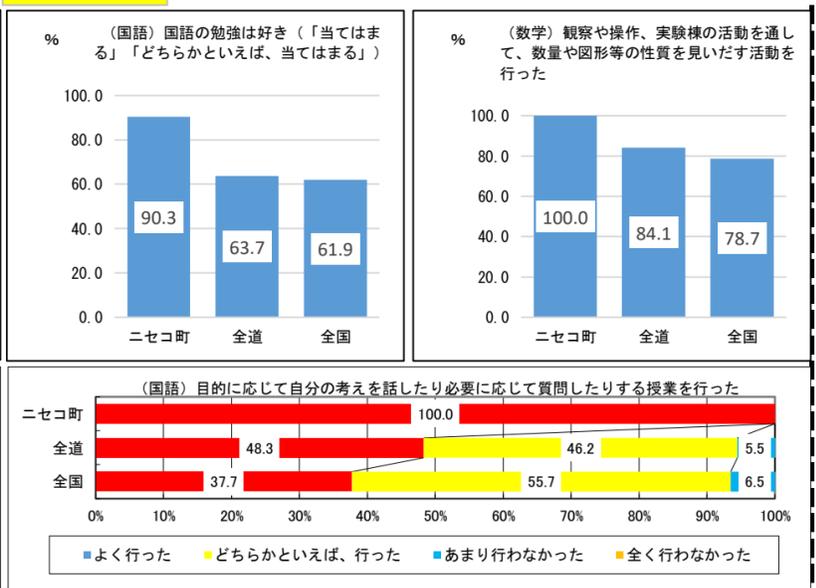


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

学級で友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしたことにより、国語の2領域2事項において全国及び全道を上回ったと考えられる。

算数の指導において、問題の解き方が分からないときは、必ずあきらめずにいろいろな方法を考える授業を行ったことにより、児童は算数の勉強は大切と考え、図形領域において全国及び全道に最も近づいたと考えられる。

中学校

国語の指導において、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行ったことにより、生徒は国語の授業が好きになり、話すこと・聞くこと領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学の指導において、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行ったことにより、授業改善が図られ、図形領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。

【ニセコ町の学力向上策】

（検証改善サイクルや望ましい学習習慣の確立に向けた取組、小中連携の取組等）

- ◎ 「学校評価ガイドライン」に基づく幼・小・中・高の連携強化と学校改善の推進
- ◎ ICT機器を活用した児童生徒の主体的な学習活動や、学習意欲、思考力、判断力、課題解決力を育成する教育の展開
- ◎ 外国人指導助手を活用した生きた英語による児童生徒のコミュニケーション能力と国際感覚の養成